

ヒューマンインタフェース学会コミュニケーション支援専門研究委員会
第6回研究談話会「視線とインタラクション」のご案内

「目は口ほどに」と言います。人と人、人と機械のコミュニケーションやインタラクションで視線は重要な役割を占めます。今回の談話会は、「視線とインタラクション」をテーマに、関西大学の米澤朋子先生、大阪大学の中澤篤志先生らを迎え、研究の枠組みやその将来像について議論する機会と致しました。シンビオ社会研究会共催の談話会は、今年で5年目を迎えます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主催：ヒューマンインタフェース学会コミュニケーション支援専門研究会

共催：特定非営利活動法人シンビオ社会研究会

日時：2011年10月28日(金) 13:00-17:00

会場：関西学院大学大阪梅田キャンパス 10階 1005教室

(http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)

プログラム

13:00-14:00 特別講演Ⅰ「ぬいぐるみロボットとユーザの視線インタラクションの設計」

講師：米澤朋子（関西大学総合情報学部）

14:15-15:15 特別講演Ⅱ「眼球表面の光学系とその注視点検出への応用」

講師：中澤篤志（大阪大学サイバーメディアセンター）

15:45-16:45 講演「舞踊の身体表現におけるインタラクションの評価」

講師：鹿内菜穂（立命館大学情報理工学部）

※ 参加申し込み連絡先：参加費は無料です。事前申し込みは不要です。当日受付で参加者リストに氏名、所属をご記入ください。

※ 問い合わせ先：山本倫也（関西学院大学理工学部）

E-mail: michiya.yamamoto@kwansei.ac.jp